

本市にゆかりのある二人が応援大使に就任

1月22日、萩原市長は、長野県在住で絵本作家である矢代麻里子さんと面会し、「星の降る里あしべつ応援大使」の委嘱状を手渡しました。

矢代さんは、小学1年～4年生（昭和57～61年）までの4年間を芦別で過ごし、緑ヶ丘小学校に在学していました。

矢代さんからは、「子どもの頃に住んでいた芦別が忘れられず、今までずっと桃源郷のように恋い慕ってきました。応援大使になれて感激。絵本を通して、世界に芦別の魅力を届けたい。」と就任への思いが寄せられました。

また、1月23日には、ラグビーチーム「埼玉パナソニックワイルドナイツ」の本拠地である埼玉県

熊谷市の同チームクラブハウスの練習グラウンドにおいて、芦別高校卒業まで本市に在住していた、選手の小山大輝さんに、市長から、「同応援大使」の委嘱状を手渡しました。

小山さんからは、「故郷である芦別とこの様な形で関わらせていただけること、とても光栄です。微力ではありますが、ラグビーを通じて芦別がさらに盛り上がるように取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。」と就任の意気込みを語っていました。

お二人には、今回の就任により、本市の活性化やPRなど、まちづくりにご協力いただくこととなりました。



絵本作家の矢代麻里子さん



埼玉パナソニックワイルドナイツ選手の小山大輝さん

冬の芦別ににぎわいを。第11回あしべつ雪まつりが開催



2月4日、第11回あしべつ雪まつりが金子金物店駐車場の特設会場で行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。

このまつりは、会社役員や市職員など9人の市民有志で組織されるあしべつ雪まつり実行委員会（石岡祐二実行委員長）が主催。例年行われ

ていた道の駅スタープラザ芦別から会場を変更して開催されました。

会場では、市内外の7店舗が集まった飲食コーナーや巨大滑り台に順番待ちの列ができ、石岡実行委員長は「たくさんの方のご協力に感謝します。今後も市民が楽しめるまつりを続けたい」と話していました。

楽しく遊んで景品ゲット。児童センターまつり

児童センターまつりが2月17日、子どもセンターつばさ内の児童センターで行われ、親子連れなどたくさんの市民が訪れました。

子ども達は、まつり内でイベントに参加するための100円チケットを手し、射的やくじ、芦別市民生委員児童委員協議会が協力するお楽しみ

抽選会で景品をもらい、嬉しそうな笑顔を見せていました。

また、児童の保護者らで運営される母親クラブが共催するフリーマーケットでは、ぬいぐるみなどの子ども用品から家電や食品など、数多くの目玉商品を販売。売り上げは来年度の開催費用にあてられます。

